

## 多賀町霜ヶ原で収穫祭の開催が決定！

多賀町霜ヶ原では高齢化に伴い、近い将来、担い手不在による耕作放棄地の発生が懸念されています。このため、担い手確保に向け他出子弟に地域農業に興味を持ってもらう機会を設けるため収穫祭の開催が決定されました。

当課では集落における話合いの開催により、平成 27 年度から地域住民で担い手不足への危機感を共有できるよう支援してきました。さらに、今年 2 月にはアドバイザーによるワークショップを開催し、1~2 時間以内に霜ヶ原に帰ってくることでできる他出子弟が沢山おり、「人」の資源が豊富にあることが確認できました。

このようななか、今年度から緑のふるさと協力隊員が地域に滞在し、農作業を通じて地域住民との交流が行われています。協力隊員の滞在をきっかけに「小さなことでもいいから、地域の活性化に向けて、他出子弟に帰ってきてもらい、農業に興味を持ってもらうためにできる取り組みは何か」を集落のみなさんや関係機関と一緒に模索してきました。

その結果、協力隊員と地域住民が協力して育てた、米と野菜を使った収穫祭を 10 月 29 日に開催することが決定されました。霜ヶ原産の農産物を使ったおにぎりや料理をふるまい、地域住民間の交流を深めるとともに他出子弟に農業に触れていただき、霜ヶ原の良さを再認識してもらうことで、地域の活性化を図ろうという初めての取り組みとなります。

まだまだ小さな取組かもしれませんが、この取り組みが将来につながるよう地域のみなさんや関係機関と一緒に考えていきたいと思えます。



役員との話合い



協力隊員への野菜の栽培指導